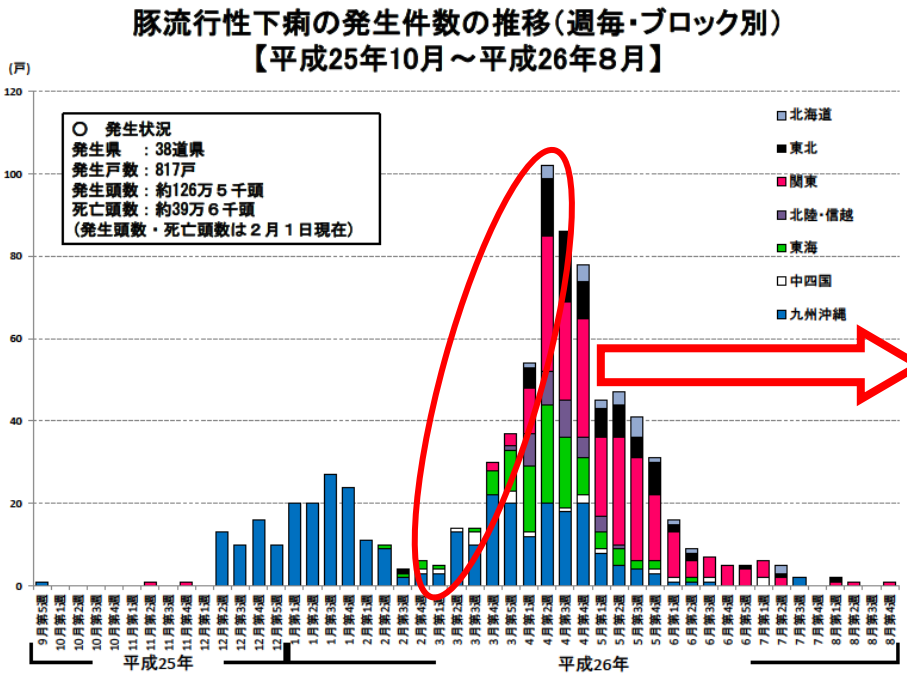
城南家保ニュース Vol.26-11

熊本県城南家畜保健衛生所
〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1
TEL　0966-22-3814　　FAX　22-3617
E-mail　jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp
ホームページ　http://www.pref.kumamoto.jp/kahojouna

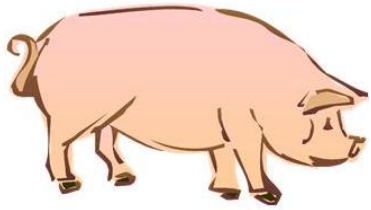
熊本県における豚流行性下痢（ＰＥＤ）発生について

平成２７年２月４日に豚流行性下痢（ＰＥＤ）が熊本地域において発生しました。熊本県での発生は、１月１４日の菊池地域に続き、今季２例目の発生となります。人吉・球磨および芦北地域での発生は、現在のところ認められていませんが、隣接する鹿児島県と宮崎県においては、鹿児島県で１６件、宮崎県で７件の発生が起こっており、当地域は今後もＰＥＤ侵入の危険性が高いと考えられます。

昨年は３月から発生件数が急激に増加しました。今年も３月を迎えるにあたり、更なる注意が必要と思われます。養豚関係者におかれましては、昨年１０月に制定されたＰＥＤ防疫マニュアルを基に、防疫対策及び徹底した飼養衛生管理を実施するようお願いいたします。さらに、もしものＰＥＤウイルス侵入からほ乳豚を守るために、母豚へのＰＥＤワクチンの適切な接種をお願いいたします。



３月第１週では１０件以下、４月第２週には１００件超え。およそ１か月間で１０倍以上の増加率!!



寒冷期における子牛の寒さ対策について

子牛の寒さ対策はされていますか？子牛は寒さにあまり強くありません。対策を怠ると、熱産生にエネルギーを使用し、増体に悪影響を及ぼします。また、寒冷ストレスにより、子牛は肺炎などの病気にかかりやすくなります。以下の点に注意をお願いします。

● 冷たい風を直接身体にあてない

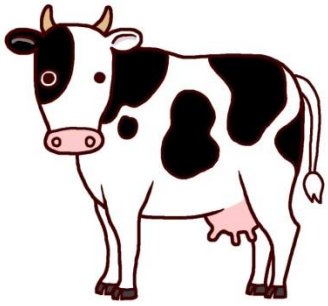
入り口付近やすきま風が入る場所では、冷風が直接子牛にあたります。子牛は牛舎の奥の方で飼養し、すきまは段ボール等で塞いでください。開放型牛舎では、カーフハッチの設置が効果的ですが、その際、入り口が風向きと逆（南側）になるように設置してください。また、閉鎖型牛舎では、締め切ると呼吸器病になってしまうので、適度な換気をお願いします。

● 敷料の管理

敷料の量が少ないと地面の冷たさが伝わり、体温が奪われます。敷料は厚めに敷き、糞尿等で湿った場合はこまめに取り替えてください。また、わらの方がおがくずより、保温性が高いので、寒冷期の敷料に適しています。

● 人工哺乳の際は代用乳の温度に注意

代用乳の最適温度は、３９～４０℃です。寒冷期は代用乳の温度が下がりやすいので、給与時の温度が低くなっていないか注意してください。



● 保温対策

防寒ベストやネックウォーマーの着用や赤外線ヒーター等の暖房器具の設置も寒冷対策として効果的です。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生月日	畜種	型
口蹄疫	中国	1月8日	牛、豚	A
	韓国	1月2日～1月23日	牛、豚	O
高病原性 鳥インフルエンザ	中国	1月5日	家きん	H5N1
		1月14日、25日	家きん	H5N6
		1月28日	家きん	H5N2
	台湾	1月6日～1月22日	家きん	H5N2
		1月8日～1月22日	家きん	H5N8
		1月11日～1月22日	家きん	H5N3

2月3日現在

編集後記（防疫課 F.T.）

整った環境で適切な食事を取れば、牛も人もなかなか病気になりません。風邪の子牛について、上司と農家のやりとりを聞き、色々調べてみて、この結論にたどりつきました。果たして自分はどうなのか…。改善点が多すぎるので、一歩ずつ改めていこうと思います。